

北海道浮魚ニュース

平成 14(2002)年度 14 号 (通巻 No.134)

2002 年 9 月 2 日

北海道立水産試験場

道東イカ類資源調査結果

釧路水試調査船北辰丸により行われたスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間：2002 年 8 月 27 日～8 月 30 日
- ・調査海域：道東太平洋沿岸域

道東沿岸域スルメイカの分布は低密度

1. 水温分布・・・表面水温は昨年よりも低い

表面水温は 10.4～13.9 (昨年：14.6～17.5) 深度 50m 層の水温は 6.6～9.6 (昨年：3.1～8.1) でした。表面水温は昨年を大きく下回っています。

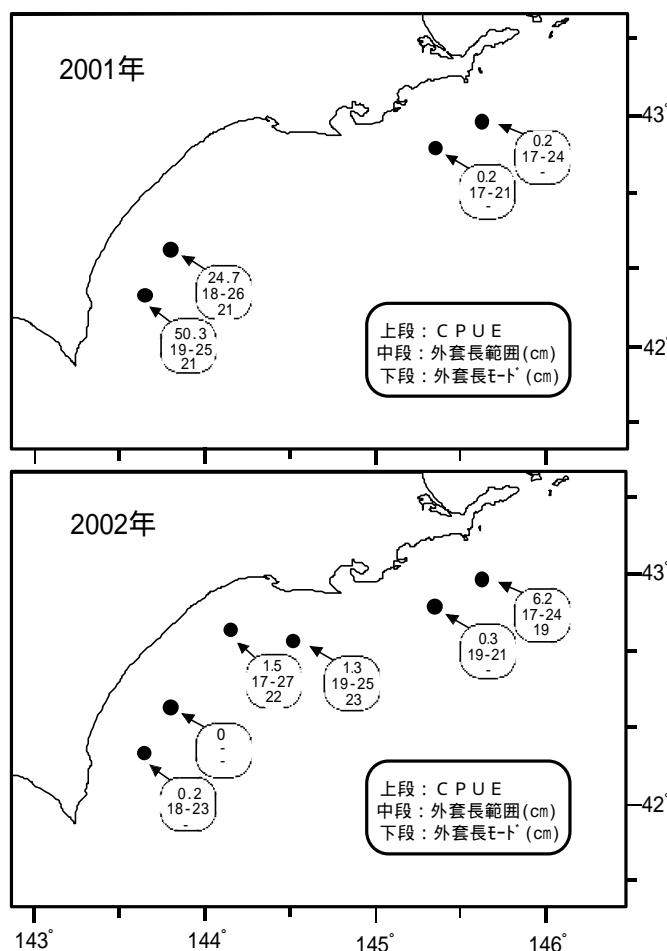


図1 スルメイカ調査結果

2. 分布密度・・・道東沿岸は低密度

調査を行った6調査点の平均CPUE(2連式イカ釣機1台1時間当たりの漁獲尾数)は、1.6で昨年(18.3)を大きく下回りました。最もCPUEが高い点は、落石沖の6.2で、道東沿岸全域で分布密度が低くなっています。

3. スルメイカの大きさ・・・小型が多い

調査点全域でのスルメイカの外套長(胴長)は、17～27cmでした(図2)。モード(最も多く漁獲されたイカの大きさ)は19cmで、昨年(21cm)よりも小さくなっています。組成は、

ほぼ昨年並みですが、小型の**スルメイカ**が多くなっています。落石沖のモードは19cmで、釧路沖の2点のモードは22~23cmでした（図1）。

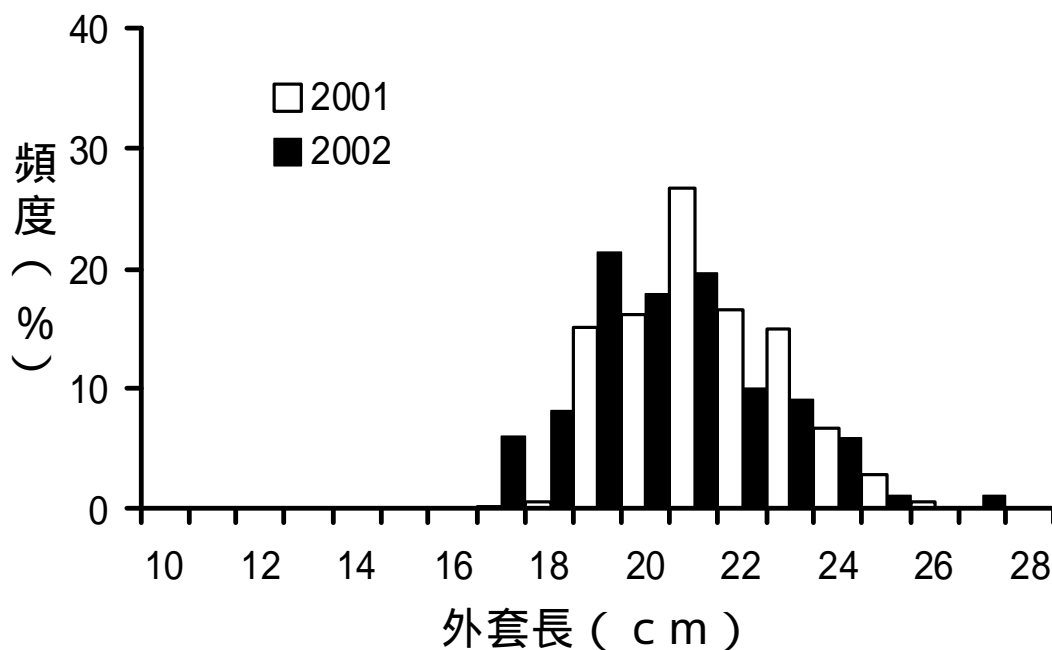
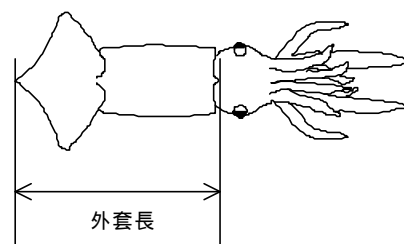


図2 南下期第1次調査スルメイカ外套長組成図

- ・ 今回の調査結果を含め、各機関の調査結果を基にして、9月25日（火）に第2次スルメイカ漁況予報が発表されます。
- ・ 台風のため、予定していたオホーツク海の調査が中止になりました。

（文責：釧路水産試験場 資源管理部、TEL:0154-23-6222、
FAX:0154-23-6225）